

「友だちに恵まれた」「行動が積極的に」 「ホストファミリーに支えられた」

昨年度、長期交換留学、中期留学、春期留学(短期)の各プログラムに参加した4学生の体験記を紹介しよう。語学の習得、留学仲間との交流、人生観の変化など、留学での「宝もの」の体験を、つづけてもらおう。



▶ スペイン人の友だち、ジョセフとソニーのハーバーブリッジで。右が大木さん

ありのままの自分を認めるようになった

大木 勝博 (法4)

豪ウーロンゴン大学に長期交換留学

入学するまで自分に對して漠然とした不安を持っていました。その不安を乗り越えるために、何か新しいことを始めなければならぬと思いが、自分の能力に線を引き、目標をあきらめず、見つけられずにいました。そんな時、国際交流事務課の留学ガイダンスに参加し、長期交換留学経験のある先輩から話を聞き、留学を決意しました。留学までに必要なさまざまなことを結論にしながら進んでいきました。

留学を支えてくれたかけがえない友に感謝!

頼金 宏美 (経済4)

アメリカのオレゴン大学に長期交換留学

Hiromi We miss you!! Come back? PLEASE. 友だちというものは、言語や国が違っていても、どんな思想を持っていても、関係ありません。常に私を笑わせてくれ、支えてくれる存在です。第2は、能動的に行動するようになりました。留学中に自分に起きた良い変化はすべて、自分の頭で考え行動した時に起るようになってきました。最後は、留学を通して自分をサポートしてくれた人の大切さに気づき、前にもまして感謝の気持ちが強まったことです。



▲ オレゴンの友だちと。後列右から2人目が頼金さん

彼らとは、留学が終わるまで付き合うことになり、仲間になった。家族のように迎えてくれ、ほとんど毎日一緒に過ごしました。授業がどんなに難しくても、いつもそばにいてくれて、後列右から2人目が頼金さん

オーストラリア・アメリカ・フランス・スペイン

留学体験記

「留学仲間」のクラスメイトに励まされた

浅香 菜月 (商4)

仏リュミエール・リヨン第2大学に中期留学

留学での目標は「フランス人とかわることを。私が落ち込んでいたことに気がつくとき、私の上で、私にとって関心のないテーマの授業が行われ、まったくついていくことができません。自信をなくしてしまいました。落ち込んでいたとき、授業を受けるのもおっくうになっていった時、韓国人のクラスメイトが声をかけてくれました。彼は、何も言わずにあらゆるものを手渡してくれました。



▶ 中国や日本の友人たちと。前列の左端が浅香さん

留学中、授業で戸惑うことは何度もありました。そんな時、いつも親身になって教えてくれるのは、中国人や韓国人のクラスメイトでした。中には何度かありました。そんな時、いつも親身になって教えてくれるのは、中国人や韓国人のクラスメイトでした。中には何度かありました。そんな時、いつも親身になって教えてくれるのは、中国人や韓国人のクラスメイトでした。

ホストマザーに助けられ次は長期留学をしたい

山中 結衣 (文2)

スペインのバルセロナ大学に春期留学

バルセロナでの留学は、想像以上にたくさん経験することができました。大学から徒歩で行けるところには多くの世界遺産があり、美しい地中海に、石畳の歴史ある街並み、まさに最高の環境でした。バルセロナに着いたばかりのころは生活習慣や初は「ご飯たべたよ」ないました。

2011年度長期交換留学生(第2期)

長期交換留学プログラムで渡航する2011年度長期交換留学生(第2期)が以下の3人に決まり、それぞれ留学先に派遣された(敬称略)。



- 三谷心太郎(経済3)
- オレゴン大学(米国)
- 澁澤ひかり(文3)
- 【スペイン語圏】
- イベロアメリカーナ大学(メキシコ)
- 齊藤達哉(経済4)

春期日本語・日事情プログラム開催

国際交流協定校など、海外からの留学生が、国際交流センターで日本語学習や日本文化を学ぶ機会が設けられた。参加者はカナダのカルガリー大学生ら10人。研修する2011年春と東日本大震災の影響で例年より少なかったが、5月11日から4週間、日本語学習に励んだ。



▲ ウェルカムパーティーであいさつする春期日本語・日事情プログラム受講の留学生

バルセロナ大学では自分の所属と同じ学科の様子や研究室を自主的に見に行き、学部の雰囲気を感じたいのかより明確になり、バルセロナでの生活が学業の勉強を促すことができた。